

# 第 66 号

発行  
 〒970-8026 いわき市平字菱川町1番地の3  
 (公社)いわき市シルバー人材センター  
<http://www.silver-brain.com/fukushima/iwaki>  
 広報委員会  
 TEL 0246-22-1722  
 FAX 0246-22-1752



安全講習会



平谷ミヤ子 会員 作品



小松政男 会員 作品



地区班会議

## 公益社団法人 いわき市シルバー人材センター **会員心得**

1. わたしたちは、シルバー人材センターの目的に誇りをもって働きます。
2. わたしたちは、豊かな経験と能力を生かして仕事にとりくみます。
3. わたしたちは、誠心誠意仕事にとりくみます。
4. わたしたちは、社会参加に喜びと生きがいを求めます。
5. わたしたちは、健康と安全に留意します。
6. わたしたちは、会員相互のふれあいを大切にします。

# 平成二十八年年度事業計画

## (3月28日理事会にて決定)

### ■基本方針

わが国経済は、政府が実施したデフレ脱却に向けた諸政策による経済対策等で回復の兆しも見られ、更なる景気の浮揚も期待されていますが、中国、アジア新興国等の景気の下振れ、金融市場の変動の影響等もあり、依然として不安要因を抱いている状況にあります。一方、雇用関係においては、急速な少子高齢化により高齢化率(65歳以上人口比)26・8%という超高齢社会になっており、年金受給年齢までの雇用確保のため定年延長や継続雇用制度等も導入されておりますが、団塊の世代が既に65歳を超えている中、現実には更なる労働力人口の減少が懸念されており、高年齢者の労働能力をいかに有効活用するかが、重要な課題となっております。

このような状況の下、「生涯現役社会」を目指して、就業を

通じて地域社会の要望に応える元氣な高年齢者が活躍するシルバー人材センター事業が果たす役割は、ますます重要であり、市民の期待も増しております。

しかしながら、国の行財政改革による、運営費補助金の削減や震災と経済不況に伴う受注減、労働環境の変化による会員数の減少等、シルバー人材センターを取り巻く環境は依然厳しい状況にあります。

こうした現状を克服するためには、更なる自助努力も必要であり、公益社団法人として真に地域社会に愛され、信頼される団体となるため、公益性のある事業展開を念頭に組織体制の強化とともに会員増強、就業機会の確保、拡大を積極的に図る必要があります。

いわき市をはじめ関係機関の支援と協力を得ながら、会員、役職員が一体となった連携を更に強化し、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、今まで以上に会員の主体性や積極性を十分に活かせるセンターとし

て安全・適正就業を基本に更なる事業の基盤拡大と充実発展に努めてまいります。

#### 事業実績目標

- (1)会員数 一、三〇〇名
- (2)受託件数 七、〇〇〇件
- (3)就業延人数 一〇〇、〇〇〇人日
- (4)契約金額 五〇〇、〇〇〇千円

## 事業実施計画

### 一、組織体制の強化

公益社団法人として組織体制を更に強化するため、センターの自主性・主体性を基本に理事会をはじめ班長会議、各種委員会、地区班会議等の有機的な活動を推進しながら、より公正で公平な事業運営に努めます。また、いわき市、県連合会、職業安定所等、関係機関との連携も密にし、地域社会のニーズに応え信頼を高めるため、会員の就業意欲と共働・共助の連帯意識のもと、会員相互の親睦と融和を図りながら組織の強化に努めます。

### 二、安全就業の徹底

センターの事業運営上、安全

就業が基本であり、事故ゼロを目指した事故防止対策を組織を挙げて取り組む必要があります。「安全は全てに優先する」を念頭に、会員の就業時及び就業途上の事故を未然に防ぐため、今年度も安全・適正就業委員会、安全就業推進員、安全パトロール指導員を中心として定期的な就業現場視察、就業時の安全一声運動の徹底等による注意喚起を積極的に推進します。また、会報等による啓発とともに各種安全講習会、安全標語の募集等による安全就業の意識、健康診断の受診促進等による健康意識の高揚に努め、安全就業の徹底を図ります。

### 三、適正就業の推進

受注及び会員の就業形態に係る法令順守を基本に、公平な就業機会の提供を前提として、就業の分ち合いにより多くの会員が働く喜びと生きがいを感じてくるよう、「就業基準に関する要綱」を基本として、ローテーション就業の推進と就業参加の呼掛けを積極的に行います。ま

た、今年度も就業率の向上のため未就業会員の体験就業並びにアンケート調査等を実施しながら、働く喜びを享受できるように適正就業の推進に努めます。

#### 四、福祉・家事援助サービス事業の推進

超高齢社会が進展する中、福祉・家事援助サービス事業の需要が年々増加してきている現状を踏まえながら、受注体制の強化のため、実践に即した講習会を実施すると共に、発注者、就業会員の多様なニーズを的確に把握しながら、希望に合った仕事の紹介に努めます。

福祉・家事援助サービス事業の充実のため、「福祉の受け手から担い手」を目指して、会員の確保、育成を図り、センターの役割を十分検討しながら少子高齢社会に対応すべく積極的な事業展開を図ります。

#### 五、会員拡大の強化推進

センター事業の根幹をなす会員数を確保するため、会員拡大を最重要課題とし、減少傾向にある会員数を増加させるため、

団塊の世代の動向を見極めながら、入会説明会（原則月5回）の充実を図ると共に、会員の口コミ強化、街頭啓発活動等による積極的な入会促進活動を実施し会員拡大を推進します。多種多様な就業依頼に常に対応できるように、センター理念に賛同し、自己の知識・経験を活用し、就業を通して社会参加と生きがいづくりを希望する、より多くの健康で働く意欲と能力のある会員の確保に努めます。

#### 六、各種技能講習会の充実・強化

好評を得て受注量が増加している技能職群、襖張替え、植木剪定、筆耕等の仕事にスムーズに対応できる体制を更に強化するため、今年度も技能職群の就業会員育成を目的とした技能講習会の充実を図るとともに、発注者や利用者等により満足いただけるよう接遇研修等、目的に沿った各種講習会も積極的に開催します。また高齢者の就業支援を前提としたシニアワークプログラム事業、高齢者活躍人材育成事業の技能講習も県連合会

との連携を図りながら実施します。

#### 七、普及啓発活動、就業機会開拓の推進

シルバー人材センター事業を地域社会に広く理解・浸透させ事業拡大を図るには普及啓発活動は大きな役割を果たします。センターのホームページによるPR、会報、リーフレットの有効活用、街頭啓発活動の実施等、様々な機会を通じて普及啓発に努め、関係機関との連携を図りながら、企業、各種団体、個人家庭へのPR活動を強化し、普及啓発活動を推進します。また、就業機会の更なる拡大のため、会員、班長・役職員が一丸となり積極的に就業機会の掘り起しに努めると共に、今年度も役職員による事業所訪問等を実施し就業機会の開拓推進に努めます。

#### 八、多様化する就業形態への対応

労働力人口の減少もあり高齢者の雇用情勢は法改正によって多方面で変化が見られ、センターで扱う就業形態も従前から

の請負・委任による就業はもとより臨時的・短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業等、より多様化してきております。新規事業の高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の推進を図り、会員と発注者のニーズを的確に把握し、仕事の量的確保、拡大を図るため、一般労働者派遣事業、職業紹介事業にも積極的に取り組みます。

#### 九、地域社会への貢献と共存

真に公益社団法人として信頼され、親しまれるセンターとなるためには、地域に根ざした協力、協関係が何にもまして重要であり、共存・共栄の立場から地域あつてのセンターを念頭に感謝の心を持って、今年度も公益目的事業活動の一端として市内3ヶ所でのゴミ拾い清掃の地域美化奉仕作業、サンシャインマラソンのボランティア参加等の活動を継続し、会員作品展示会等の文化活動も積極的に実施しながら地域社会への貢献と共存を図ります。

安全・適正就業委員会から

去る3月29日に開催した第三回会議の内容について報告します。事務局より交代就業及び傷害事故・賠償事故件数等について報告があり、特に傷害・賠償事故とも前年度対比で共に5件ずつ増加しております。賠償事故は15件発生し、うち13件が機械草刈り時の事故であります。今回の会議の中で、初歩的な危険予知の認識に欠けていることから、各グループのリーダーによるより一層の指導の徹底を、お願いいたします。

緊急報告「賠償事故の実態」

27年度内に福島県内のシルバーセンターで発生した賠償事故は37件で、うち当センターでの発生は15件と実に県全体の40%強の多さでした。このままでは、本市センターの運営にも支障をきたすこととなりますので自覚と責任をもって当って下さい。

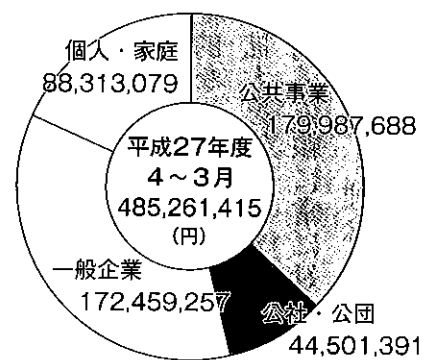
(安全・適正就業委員会)

委員長 鈴木 英應

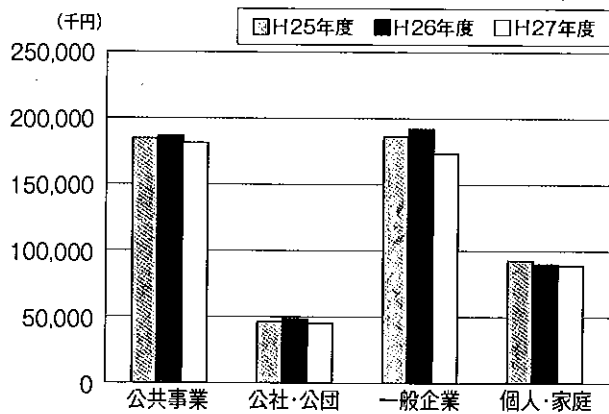
平成27年度事業実績速報

平成27年度事業実績(4月~3月)を見ますと、景気の浮揚も多少見えてはいますが依然として低調な経済状況下、会員各位のご努力・市当局並びに関係機関のご協力により、事業運営は順調に推移しております。契約金額は残念ながら前年度比で5・6%減となりました。内訳を見ますと公共事業、公社・公団からの受注は行財政が厳しい中、前年度と比較すると減少しており、民間受注も企業個人・家庭からの発注も減少傾向にあります。一方、平成27年度から労働者派遣事業による実績(契約金額9,532千円)が新たに増えております。

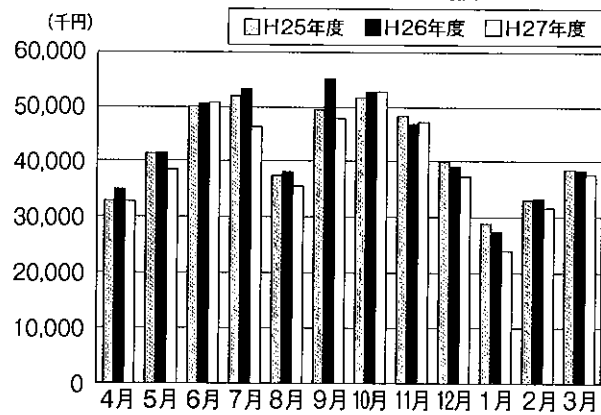
平成26年度発注者別契約金額



年度別・発注者別契約金額(4~3月)



年度別・月別契約金額



地区別会員数 平成28年3月末現在(人)

地区	男	女	計	地区	男	女	計
平	240	97	337	小川	22	4	26
小名浜	195	41	236	久大	8	3	11
勿来	124	43	167	三和	28	12	40
常磐	99	22	121	遠野	8	5	13
内郷	46	24	70	田人	6	3	9
四倉	35	10	45	川前	3	2	5
好間	27	13	40	合計	841	279	1,120

平成28年度 定時総会のお知らせ

平成28年度定時総会を5月31日(火)13時からいわき市文化センター大ホールにて開催いたします。年に一度の重要な会議であり、会員のみなさんが一堂に会する絶好の機会ですので、万障繰り合わせのうえ、ご参加下さい。

尚本年度の会費未納の方は、当日納入下さるようお願いいたします。現在事務局でも受け付けております。

(年度会費二千五百円)

# いちご取材班!



今回取材班はいわき市鹿島町にある社団医療法人・養生会・かしま病院を訪ね、シルバー人材センター会員皆さんの就業状況を、事務部・施設管理課・課長の間様にお伺いいたしました。

Q シルバー人材センターにはどのような仕事を依頼されていますか。

A 施設管理課の関連では、屋内作業で車イスの点検・修理、冷暖房設備やブライント等の清掃をお願いしております。屋外作業では4月から10月末まで、病院敷地内の草刈、除草といった環境整備の仕事をお願いしております。

なお、施設管理課以外の部門からは、身障者用駐車場の管理業務もお願いしております。Q 仕事ぶりはいかがでしょう。A 車イスの点検・修理等はプロ

の技術を駆使し非常に丁寧に取り組んでいただいております。屋外作業にいたっては、こまかい所まで気がつき、何事にも常に一生懸命に取り組んでいただいております。

Q シルバー人材センターのイメージはどうでしょうか。

A 清掃などの軽作業対応が主業務と思っておりますが、専門的知識を持った方も多いのに驚いています。根気強い人も多いのではとも思っています。

Q 今後、シルバー人材センターに期待すること等、お聞かせください。

A 季節や一定の時期に一齐に行なう大量の作業があるので、この様な作業にも適宜対応していただければ助かります。

◎御多忙中のところ、ありがとうございます。

末永いご愛顧をお願いいたします。

三和2班 藁谷 健吉

## 紹介

# おふが班自慢



県内でも最も開花が遅いと言われている三和町下市萱新田地内にある大山桜を紹介します。

この山桜は、昭和54年にいわき市が保存樹木として指定した山桜で、樹高は約16m、幹周り

は4.2mと市内でもこれ程の太木は他に類を見ないので、樹齢は300年とも

400年とも言われております。樹勢は今なお強く、毎年すばらしい花を付け、見に来る人々を癒してくれることまちがいなし。

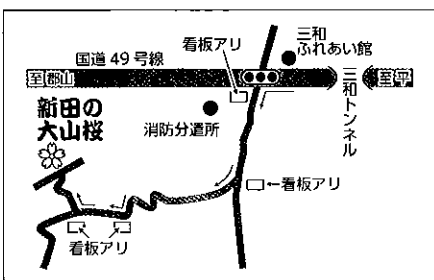
隣町である古殿の「越代のサクラ」が県内の桜の名所として有名ですが、「新田の大山桜」も勝るとも劣らない巨木であり、山桜とは思えない位のピンク色の強い花ピラで、一見の価値があるかと

思います。今年の開花時期ですが、弘前城の開花時期と同じ頃かと予測してはいますが、何分自然の植物であることから気温との関係で早くなることもありま

ので、御理解ください。道順は、国道49号を郡山方面に、三和ふれあい館を右手に約200m進み、信号を左折、消防三和分遣所の前を通過し約1

kmでY字路を斜め右方向へ、3.5km(ピンクの看板あり)を進むと「新田の大山桜」が現れます。

道幅が狭くカーブが多いので安全運転でお越し下さい。

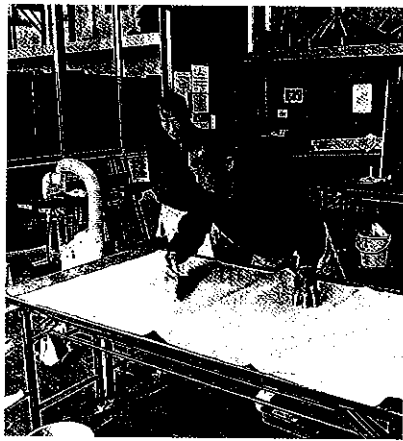
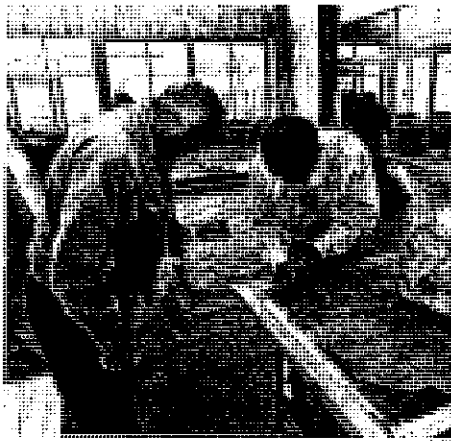


# 講習会実施報告

## ◆襖・障子張替え講習会

月日 2月8日(月)～15日(月)実5日  
 会場 いわき市職業訓練センター  
 内容 襖・障子張替え講習会

講師 小野作雄氏(会員)  
 受講者 会員5名



## ◆クロマツ剪定講習会

月日 2月22日(月)～23日(火)実2日  
 会場 いわき市総合運動公園

内容 クロマツの剪定実技  
 講師 有限会社箱根ランドスケープ

代表取締役 箱根保光氏  
 (センター専任講師)  
 受講者 会員34名(延べ)



## ◆雑木剪定講習会

月日 2月26日(金)

会場 いわき市フラワーセンター  
 内容 雑木の剪定講義及び実技  
 講師 有限会社箱根ランドスケープ

代表取締役 箱根保光氏  
 (センター専任講師)  
 受講者 会員18名

# 高齢者活躍人材育成事業

## ◆家事援助講習

月日 1月21日(木)～22日(金)実2日  
 会場 いわき市社会福祉センター

内容 就業に生かす接遇と掃除の基本的な知識と方法の習得  
 講師 Office W-being

代表 響城れい氏  
 受講者 一般8名・会員8名



# 各種講習会のご案内

平成28年度の講習会のご案内です。

## I 技能講習

講習会名	日数	募集延人員	開催予定時期
接遇	1	30	7月
筆耕	2	30	10月、12月
刃物研ぎ	1	20	10月
黒松剪定	2	40	2月
雑木の剪定	1	40	2月
襖・障子張替え	5	50	3月
安全衛生講習会座学	1	30	11月
安全衛生講習会実技	1	30	11月
刈払機メンテナンス	1	30	11月

## II 福祉・家事援助サービス講習

講習会名	日数	募集延人員	開催予定時期
調理実習	1	20	11月
介護講習	1	25	11月
清掃講習	1	30	11月

希望者は、事前に申し込みし、  
 てください。日程が決まり次第、  
 申込者だけに通知します。  
 (定員を超えた場合は、抽選となります)

(事務局 22・1722)



事務局だより

平成28年度・地区班会議が開催されました。

安全講習会「救急知識講習」(当センター安全・適正就業委員会主催)

講師 いわき市内各消防署担当署員

地区班会議(地区別出席率)

(別表1)

- 1. 班ごとに懇談(自己紹介等)
2. 班長選任(班長名は別表2)
3. その他(質疑応答)

別表1

地区別出席者数

Table with 6 columns: 日程, 開催場所, 該当地区, 会員数, 出席者数, 出席率. Rows include dates from 3月3日 to 3月17日 and a total row.

※時間 午後1:30~午後3:30まで

別表2

班長紹介(敬称略)

平成28年4月1日現在

Table with 4 columns: 班名, 班長名, 班名, 班長名. Lists various classes and their respective leaders.

○印は新班長

今年もサンシャインマラソンにボランティアで参加しました。...



ゼッケンNo. 4251~4700



いわき市が企画するサンシャインマラソン(主催・いわきサンシャインマラソン実行委員会)は2月14日に開催され...

楽しかった一泊旅行!

(会員共助会)

2月18日~19日にかけて若の牧温泉と観劇の旅(漆器会館・本郷焼も見学)を会員52名の参加のもと実施されました。

夜の宴会になり会員自慢の芸が次々と飛び出し盛会となり、一層の親睦を図ることが出来ました。



計報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

- 小名浜1班 富塚 忠義殿 (二月)
小名浜6班 齋藤 鐵男殿 (二月)
平 7A班 長谷川 達男殿 (三月)

# ▶ シルバーの未来を拓く…安全就業 ◀

# カメラ の汗ルポ



〔磐崎公民館清掃作業〕

皆さんから「いつもきれいになっていきますね」といってもらうと嬉しくなり、花の手入れや館内の清掃に励んでいます。  
(稲沼 会員)



〔湯本駅前自転車駐車場管理業務〕

皆さんが安心して利用できるよう留意し、早番、遅番交替で体に気をつけながら頑張っています。  
(渡辺・魚津・伊藤・西山 各会員)



〔南白土墓園除草作業〕

墓参りに来られる方々の安全確保と安全作業を確認しあい、メンバー一丸となって園内の除草に励んでいます。  
(田仲・國井・鈴木(廣)・大和田・鈴木(英)・箱崎 各会員)



〔工場内清掃作業〕

工場内で働く方々が気持ちよく過ごせるよう、丁寧な清掃を心がけ二人で協力しながら頑張っています。  
(高木・遠藤 各会員)



〔かしま病院駐車場管理業務〕

来院者に身障者駐車場を気持ちよく利用して頂くため一台毎言葉遣いに気を付け声をかけ、風雨雪日にも負けず頑張っています。  
(関谷・杉本 各会員)



〔かしま病院車いす点検作業〕

利用する患者様の身になり、プロとしての技術を十分発揮し点検は元より再生まで手掛け喜んでもらっています。  
(下山田・堀越 各会員)

## ◇ あとがき ◇

先日びっくりする事がありました。信号で停止していると対向車に右折のランプがつきました。右折する私は信号が変わると同時に発車。するとその車が私と同方向に、つまり左折してきたのです。ブレーキを踏み、後に車もなかった事から何事も起こりませんでした。いや確かに右折の間違いか? いや確かに右折のランプだったと何度も何度も自分に問いました。

最近、タイミンがずれる、見たはずなのに覚えてない、ちよつとした勘違いがある等が多くなったと感じています。たぶん皆さんも同じだろうと思います。お互い気をつけましょね。  
この「ふれあい」編集集中に桜が咲き、新川の土手にはお弁当を広げる人達も。華やかな気分がこちらにも伝染してきました。

- 広報委員長 山本 禎子
- 広報委員 永山 重康
- 広報委員 影山 靖翁
- 広報委員 根本 文彦